

平成24年度 第4回中国地方整備局事業評価監視委員会

日 時：平成25年3月7日（木）13：15～16：00

場 所：建政部3階会議室

議 事 録

道路事業の審議

事後評価対象事業

【一般国道2号 岡山市内立体】

◎山田委員

騒音の低減における基準として、環境基準と要請限度が示されており、当事業では要請限度は下回っているものの環境基準は超えている。特に夜間の騒音値が大きい改善をする必要はないのか。

また、振動のことについては触れられていないが、整理されているものがあれば教えていただきたい。

◎岡山国道事務所長

環境基準を下回ることが良いが、当該区間の交通量は10万台に近く、沿道の方々の環境を守るという観点から、騒音対策として遮音壁の設置などで、まず要請限度をクリアした状況にある。

振動について整理したものは持ち合わせていないが、当該区間での振動に関する苦情は聞いていない。

◎道路部長

騒音の基準の考え方としては要請限度を下回ったから良いとするのではなく、環境基準は元々望ましい政策上の目標であるため、それに向けた努力もしなくてはいけないと考えている。

騒音の対策として一番効果があるのは遮音壁の設置であるが、本線部については既に遮音壁を設置している。次に側道部の騒音を下げるとすると、低騒音舗装や側道部への遮音壁の設置、更には環状道路などにより交通を分散させるといった総合的な政策が考えられるが、側道への遮音壁の設置は効果が大きいものの、沿道の店舗への出入りが悪くなる等の問題もあり、地域の要望や土地利用、騒音に対する苦情の度合いなどを考慮しながら、地域と相談しながら進めていかないといけない。

◎鎌倉委員

1点目。評価項目調書のうち、環境影響評価に対応する項目において、「環境影響評価を実施していない」という表現になっているが、これはしなくて良いという意味なのか、それとも今後実施する予定という意味なのか。

2点目。当事業で立体化された所は高架を上ったり下ったりする構造なのか。連続した高架構造には出来ないのか。

3点目。交通量について現況交通量が91,800～96,000台/日となっているが、費

用対効果分析で使用する交通量は、計画交通量として108,300～120,300台/日と記載されているが、この数字を使い分ける理由は何か。事業完了後であるため、実績値で評価をするという考え方もあるような気がする。

◎岡山国道事務所長

1点目。環境影響評価法による環境影響評価を実施しているかを記載しており、当該事業は環境影響評価法による評価を実施する対象事業ではないため、「環境影響評価を実施していない」としている。

2点目。交差道路の交通の多いところを先に立体化し、その後平面交差点を立体化していったため、こういった構造にならざるを得なかった。

◎道路計画課長

3点目。費用対効果等を算出する際には将来の交通量を予測した上で便益を算出するため、将来の計画交通量を使用している。

◎清水委員

工期短縮のために軽量盛土を使ったり、住民との協議結果からコストが増えたとあるが、このようにしてコストをかけた結果、住民との協議がスムーズに行ったり、工期が短縮されるというような事はベネフィットの中に含まれるのか。

◎岡山国道事務所長

含まれていない。

◎清水委員

耐候性鋼材は将来のメンテナンスに係るコストが下がるが、将来の維持管理費にコストが下がることが考慮されているのか。

◎岡山国道事務所長

考慮していない。

◎清水委員

コスト縮減という目標を掲げ、事前にコストをかけているものが評価されないというのはもったいない気がする。

◎道路部長

3便益以外に、便益を正當に評価するためにどうすればよいかという事を考えていく必要はあると思っている。

◎尾島委員長

本事業の事後評価について、委員会としては「対応方針（案）は妥当」と判断する。

事後評価対象事業

【一般国道2号 厚狭・埴生バイパス】

◎藤原副委員長

暫定2車線の事業として、今後の事後評価の必要は無いということについては十分納得出来る。しかし、当面は暫定2車線で事業を実施するが、将来は本来の4車線の道路が必要であるならば、いつかのタイミングで事後評価を行う必要がある。現時点で、今後も暫定2車線で十分な効果が出続けると言い切ると、無期限の暫定になってしまうのではないか。今回の事後評価と暫定という取扱いの関係を明確にしておいた方がよいのではないか。

◎道路計画課長

今回の審議では、暫定2車線で供用している現在の状況においては課題が無いということしか確認出来ていないため、事業中である前後区間の状況なども見つつ、今後の方針を考えていただきたい。

◎藤原副委員長

当面この事業についての事後評価は必要ないが、社会情勢の変化があった際には現在の2車線から4車線にすべきという時がくると思う。その社会情勢が大きく変化した際には、事後評価をもう一度行うということを付議していただきたい。

◎裕見委員

この事業は、将来にわたってはこの前後区間も含めた大きなネットワークの計画があるのではないか。そのネットワークが全て繋がった時には、4車線にする必要が生じるため、元々4車線で計画されているのではないか。

◎山口河川国道事務所長

この前後の区間では別の事業をやっている。事業区間としては、事業化後10年前後で供用できるような範囲設定をしている。

◎道路部長

全体計画を見て、全線が暫定ではあるが繋がったという事が、社会経済情勢の変化の一つであり、その段階で今後どうするかというようなことを検討する必要があるのではないかと理解している。

◎尾島委員長

本事業の事後評価について、委員会としては付議を加えることを前提として「対応方針（案）は妥当」と判断する。

事後評価対象事業

【一般国道188号 岩国南バイパス】

◎作野委員

1 点目意見。このバイパスは他の道路との接続が前提で整備されており、当事業の存在意義をより発揮するという意味でその他の道路ネットワークなど今後の道路計画を含め事業の意義を説明する方が良いと思う。

2 点目質問。愛宕山地域は医療・防災拠点ということであるが、当該地域にはインターチェンジがない。アクセス性についてはどうなるのか。

◎山口河川国道事務所長

愛宕山は下をトンネルで抜けるため、直接アクセスはできない。前後の接続道路からのアクセスとなる。

◎尾島委員長

本事業の事後評価について、委員会としては「対応方針（案）は妥当」と判断する。

事後評価対象事業

【一般国道9号 出雲バイパス】

◎飯野委員

先日、斐川支所から県立中央病院の緊急搬送の入口のところまで車で実際に走ってみたところ、資料14ページに書いてある時間よりも余分に時間がかかった。理由として、県立病院の周辺に大型商業施設が異常に増えたことによりバイパスとして上手く機能していない事が考えられる。このため、こういったバイパスを整備するときは、沿線の開発に対してある程度規制をかける等しないとバイパスとして上手く機能しないと考える。

また、当事業の沿線で事業所の数が増えた、この地区の人口が増えたといっているが、実は出雲市から他の中心市街地へ移ってきているだけで、全体として人口が増えているわけではない。そうしたことで、出雲市の従来を中心市街地が衰退している。

バイパスの整備がそういった問題にも繋がっていることから、沿線の開発に対する規制なども含め、もう少し広く考えて事業を行うことが今後には必要ではないかと考える。山陰地域では道路整備により、その周辺でたくさんの人の移動であるとか商業施設の移動が起きるので、街そのものが変わってくるということも考えて実施してもらいたいと思う。

◎松江国道事務所長

県立中央病院への所要時間については、救急医療の搬送であるため、救急車での走行を想定しており、通常の車より早く走るように算出している。

また、地域全体を考えた事業の進め方については、今後検討すべき課題と考えている。

◎鎌倉委員

歩行者・自転車道の整備について、視覚効果整備区間というものはどういったものか。

◎松江国道事務所長

自転車道整備区間は、自転車道と歩行者道を縁石等で物理的に分離したものである。これに対

し、視覚効果整備区間というのは舗装の色を塗りわける等により、視覚的に分離したものである。

◎尾島委員長

本事業の事後評価について、委員会としては「対応方針（案）は妥当」と判断する。

河川事業の審議

事後評価対象事業

【江の川下流水防災対策特定河川事業（吾郷地区）】

◎鎌倉委員

この事業はどのような考え方で費用負担されているのか。

◎浜田河川国道事務所長

河川事業を行うにあたり、堤防を整備するために必要な費用とそれに伴い支障となる家屋を移転していただくための補償を国土交通省で負担している。

また堤防以外の盛土部分については自治体との組合せ事業となる。

なお、移転補償については、通常の事業と同様に、他の地域に移り住める程度の補償を行っているので、事業完了後、町が造成したところに戻っていただく際にかかる費用相当は補償させていただいている。

◎飯野委員

この地域周辺では道路整備も進められており、利便性が向上している。また、この地域はかなり人口減少が進んでいるが、これに対して非常に努力している地域でもあるので、事業を行うことにより地域を後押しできるような形になると非常に良いと思う。

◎尾島委員長

これだけ新しい居住者がこられたということは非常に良いことだと思います。

本事業の事後評価について、委員会としては「対応方針（案）は妥当」と判断する。

－以上－